

## 第2章 児童生徒の保健と給食

### [1]学校保健

#### 1 児童生徒の体格

小学校においては、男女ともに身長、体重は、全国平均を上回る傾向にあるが、10年前と比較すると下回る傾向が強い。

中学校では、男女ともに身長、体重は、全国平均を上回っているが、10年前と比較すると下回る傾向が強い。

高等学校では、男女ともに身長は全国平均を上回っているが、体重は全国平均を下回っている。また、10年前と比較すると身長、体重は下回る傾向にある。

市立小・中・高校児童生徒の平均体格と全国および10年前との比較 (△は下回っている)

性別	校種	項目 年齢	身長 (cm)			体重 (kg)			
			H30年	H30年	H20年	H30年	H30年	H20年	
			札幌平均	全国との差	札幌との差	札幌平均	全国との差	札幌との差	
男	小学校	6	116.4	△ 0.1	△ 0.4	21.3	△ 0.1	△ 0.1	
		7	122.5	0.0	△ 0.3	24.2	0.1	△ 0.1	
		8	128.4	0.3	△ 0.1	27.7	0.5	△ 0.1	
		9	133.7	0.0	△ 0.4	31.2	0.5	△ 0.4	
		10	139.4	0.6	△ 0.2	35.1	1.0	△ 0.3	
	中学校	11	146.0	0.8	0.2	39.9	1.5	0.1	
		12	153.8	1.1	△ 0.2	45.3	1.3	△ 0.5	
		13	161.2	1.4	△ 0.1	50.1	1.3	△ 0.7	
		14	166.4	1.1	0.1	55.0	1.0	△ 0.7	
		15	168.7	0.3	△ 0.6	58.0	△ 0.6	△ 1.3	
		16	170.3	0.4	0.0	59.5	△ 1.1	△ 1.1	
高等学校	17	170.9	0.3	△ 0.7	60.9	△ 1.5	△ 1.4		
	18以上	169.7		0.9	63.8		△ 5.8		
	女	小学校	6	115.6	0.0	△ 0.2	20.8	△ 0.1	△ 0.1
			7	121.5	0.0	△ 0.3	23.4	△ 0.1	△ 0.1
			8	127.5	0.2	△ 0.4	26.6	0.2	△ 0.4
9			133.7	0.3	△ 0.4	30.2	0.2	△ 0.2	
10			140.5	0.4	△ 0.4	34.3	0.2	△ 0.7	
中学校		11	147.1	0.3	△ 0.4	39.2	0.1	△ 0.6	
		12	152.6	0.7	△ 0.1	44.1	0.4	△ 0.5	
		13	155.4	0.5	△ 0.2	47.4	0.2	△ 0.4	
		14	157.0	0.4	△ 0.1	50.1	0.2	△ 0.1	
		15	157.4	0.3	△ 0.4	51.0	△ 0.6	△ 0.1	
		16	157.7	0.1	△ 0.3	51.3	△ 1.2	△ 0.5	
高等学校	17	158.0	0.2	△ 0.3	51.9	△ 1.0	△ 0.5		
	18以上	157.2		△ 0.9	52.4		△ 5.0		

## 2 児童生徒の健康状態

### (1) 主な疾病等

定期健康診断の結果では、う歯、視力低下等が高率である。

#### 疾病等の昨年との比較

～札幌市学校保健統計より～

順位	校種 年度 区分	小 学 校		中 学 校				
		平成 29 年	平成 30 年	平成 29 年	平成 30 年			
		疾病名	%	疾病名	%			
1	う 歯	52.1	う 歯	50.7	裸眼視力1.0未満	46.3	裸眼視力1.0未満	47.4
2	裸眼視力1.0未満	31.2	裸眼視力1.0未満	28.0	う 歯	44.7	う 歯	41.9
3	鼻 疾 患	11.2	鼻 疾 患	11.0	鼻 疾 患	10.3	鼻 疾 患	10.0
4	耳 疾 患	10.2	耳 疾 患	10.1	耳 疾 患	7.0	耳 疾 患	6.8
5	眼 疾 患	7.1	眼 疾 患	6.4	眼 疾 患	5.5	眼 疾 患	5.8
6	歯列不正咬合・顎関節異常	3.6	歯列不正咬合・顎関節異常	3.4	歯列不正咬合・顎関節異常	3.8	歯列不正咬合・顎関節異常	4.1
7	肥 満	2.1	皮 膚 疾 患	1.7	歯肉歯周疾患	3.1	歯肉歯周疾患	2.5
8	歯肉歯周疾患	1.3	肥 満	1.3	肥 満	1.1	皮 膚 疾 患	1.3
9	心 臓 疾 患	0.5	歯肉歯周疾患	1.3	心 臓 疾 患	0.8	肥 満	0.4

### (2) 口腔検査

う歯のない者は、小学校では全体の約49%、中学校では全体の約58%、高等学校では全体の約49%である。

#### 口腔検査結果(平成30年度)

( )は%

区 分	項目 性別	口 腔 検 査						
		受検者数	う 歯			歯列咬合・顎関節 に異常がある者	歯肉歯周 疾患の者	口腔清掃の 悪い者
			ない者	処置済の者	未処置歯のある者			
小 学 校	男	44,804 (97.69)	21,480 (47.94)	12,471 (27.83)	10,853 (24.22)	1,449 (3.23)	578 (1.29)	1,114 (2.49)
	女	43,301 (97.92)	21,945 (50.68)	11,642 (26.89)	9,714 (22.43)	1,576 (3.64)	517 (1.19)	874 (2.02)
中 学 校	男	21,147 (95.56)	12,435 (58.80)	4,580 (21.66)	4,132 (19.54)	842 (3.98)	670 (3.17)	851 (4.02)
	女	20,460 (95.94)	11,736 (57.36)	4,737 (23.15)	3,987 (19.49)	868 (4.24)	373 (1.82)	424 (2.07)
高等学校	男	3,187 (96.58)	1,624 (50.96)	943 (29.59)	620 (19.45)	89 (2.79)	73 (2.29)	116 (3.64)
	女	3,872 (96.15)	1,808 (46.69)	1,257 (32.46)	807 (20.84)	128 (3.30)	32 (0.87)	52 (1.34)

### (3) 視力検査

視力1.0未満の者は、小学校では全体の約28%、中学校・高校では全体の約47%である。

#### 視力検査結果(平成30年度)

( )は%

区 分	項目 性別	検 査						矯正視力 受検者数
		総受検者数	受検者数	裸 眼 視 力 1.0 未満の者	そ の 内 訳			
					0.9~0.7	0.6~0.3	0.2以下	
小 学 校	男	45,407 (99.01)	40,239 (88.62)	10,103 (25.11)	3,287 (8.17)	4,928 (12.25)	1,888 (4.69)	5,168 (11.38)
	女	43,886 (99.25)	38,060 (86.72)	11,816 (31.05)	3,738 (9.82)	5,743 (15.09)	2,335 (6.14)	5,826 (13.28)
中 学 校	男	21,689 (98.01)	14,418 (66.48)	6,524 (45.25)	2,012 (13.95)	2,958 (20.52)	1,554 (10.78)	7,271 (33.52)
	女	20,941 (98.19)	11,894 (56.80)	5,942 (49.96)	1,663 (13.98)	2,639 (22.19)	1,640 (13.79)	9,047 (43.20)
高等学校	男	3,229 (97.85)	1,448 (44.84)	702 (48.48)	215 (14.85)	298 (20.58)	189 (13.05)	1,781 (55.16)
	女	3,931 (97.62)	1,451 (36.91)	655 (45.14)	201 (13.85)	292 (20.12)	162 (11.16)	2,480 (63.09)

(4) 心臓検診

問診票もしくは心音・心電図検査結果から、心臓検診判読委員会にて精密検査を勧められた者の割合（D/B）は高1が最も高く、次に中1が高い。精密検査を受けた者の有所見率（E/D）は小1が約45%で最も高い。

心臓検診受診状況(平成30年度)(小学校1年生・中学校1年生の心音・心電図検査, 高校1年生の心電図検査)

校種別	A 在籍者数	B 受検者数	要精検該当者数		有所見者数			受検率 (%)			有所見率 (%)			
			C 第1次 対象者数	D 第2次 対象者数	E 計	F 病名の ついた 者	G 要 観 察 者	B/A	C/B	D/B	E/B	E/D	F/E	G/E
小1年	14,588	14,445	1,157	119	53	51	2	99.02	8.01	0.82	0.37	44.54	96.23	3.77
中1年	14,148	13,905	1,516	242	97	97	0	98.28	10.90	1.74	0.70	40.08	100.00	0.00
高1年	2,386	2,373	314	87	35	33	2	99.46	13.23	3.67	1.47	40.23	94.29	5.71
計	31,122	30,723	2,987	448	185	181	4	98.72	9.72	1.46	0.60	41.29	97.84	2.16

(5) 尿検査

第1次、第2次の尿検査結果から尿検査判定委員会に上げられる割合（E/B）は高校、中学校、小学校の順である。精密検査を受けた者の有所見率（G/F）は小学校が最も高く（約38%）、次いで中学校（約36%）、高校（約18%）となっている。

尿検査受診状況(平成30年度)

項目 校種別	A 在籍 者数	B 受検 者数	陽性者		E精密 検査該 当者判 定委員 会	精密検査			受検率 (%)					有所見率%		
			C 第1次	D 第2次		F 受検 者	G有 病名の ついた 者	異常 なし	B/A	C/B	D/B	E/B	F/E	G/B	G/F	
小学校	89,867	89,501	1,828	454	277	212	80	0	132	99.59	2.04	0.51	0.31	76.53	0.09	37.74
中学校	43,707	42,500	3,116	318	247	143	52	0	91	97.24	7.33	0.75	0.58	57.89	0.12	36.36
高校	7,039	6,834	639	31	40	28	5	0	23	97.09	9.35	0.45	0.59	70.00	0.07	17.86
計	140,613	138,835	5,583	803	564	383	137	0	246	98.74	4.02	0.58	0.41	67.91	0.10	35.77

## 〔2〕災害共済給付

学校教育において、児童・生徒の健康と安全を図っていく安全教育の役割はきわめて大きいものがある。独）日本スポーツ振興センターの災害共済給付は、学校の管理下において児童・生徒などに災害（負傷・疾病・障害・死亡）が発生した場合に、その医療費などの災害共済給付金の支給を行い、学校教育の円滑な実施が図られることを目的としている。

## 1 加入状況・災害発生件数と給付状況

校種別	年度	加入人員 (人)	加入率 (%)	災害発生 件数 (件)	給付金額		1件当たり の給付額 (円)	
					(医療費、障害・死亡見舞 金、供花料含む)	人員被災率 (%)		
					(円)			
幼稚園	29	677	100	43	135,105	6.35	3,142	
	30	673	100	41	92,420	6.09	2,254	
小学校	29	89,799	100	5,454	54,767,013		10,042	
	30	90,135	100	5,006	47,239,870	5.55	9,437	
中学校	29	44,181	100	5,116	91,468,188		17,879	
	30	43,361	100	4,330	85,512,564	9.99	19,749	
高等学校	29	7,239	100	726	37,451,752		51,586	
	30	7,299	100	626	23,727,428	8.58	37,903	
計	29	141,896	100	11,339	183,822,058	7.99	16,211	
	30	141,468	100	10,003	156,572,282	7.07	15,653	

## 2 傷害別発生状況(年次推移)

(発生件数：件)

校種別	年度	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・ 打撲	靭帯 損傷	切傷	刺傷	割傷 裂傷	擦過傷	歯の傷	火傷	その他	計
幼稚園	29	2	3	5	16	0	1	0	4	2	1	0	9	43
	30	4	0	5	16	0	3	3	1	5	1	0	3	41
小学校	29	1,098	1,011	221	1,919	170	97	53	140	185	85	39	436	5,454
	30	1,097	971	197	1,621	165	76	61	134	154	73	47	410	5,006
中学校	29	1,331	1,387	86	1,127	387	27	16	33	20	21	20	661	5,116
	30	1,154	1,079	89	1,015	330	30	23	28	18	12	13	539	4,330
高等学校	29	152	179	17	168	82	4	3	4	2	6	2	107	726
	30	126	141	13	157	81	3	2	2	4	7	1	89	626
合計	29	2,474	2,451	394	3,248	607	104	74	241	185	114	51	1,165	11,339
	30	2,381	2,191	304	2,809	576	112	89	165	181	93	61	1,041	10,003

## 3 場所別発生状況(平成30年度)

(発生件数：件、発生率：%)

校種別	区分	学 校 内								学 校 外				計
		校 舎 内					校 舎 外			道 路	運 動 場	山 川	そ の 他	
		体 屋 内 育 運 動 館 場	教 室	廊 下	階 段	そ の 他	屋 校 外 運 動 場 庭	プ ール	そ の 他					
小学校	発生件数(件)	1,626	842	202	252	157	1,071	18	54	591	14	76	103	5,006
	発生率(%)	32.5	16.8	4.0	5.0	3.1	21.4	0.4	1.1	11.8	0.3	1.5	2.1	100.0
中学校	発生件数(件)	2,350	190	190	128	40	748	1	8	144	438	48	45	4,330
	発生率(%)	54.3	4.4	4.4	3.0	0.9	17.3	0.0	0.2	3.3	10.1	1.1	1.0	100.0
高等学校	発生件数(件)	311	8	8	11	1	145	0	0	45	64	9	24	626
	発生率(%)	49.7	1.3	1.3	1.8	0.2	23.2	0.0	0.0	7.2	10.2	1.4	3.8	100.0

## 4 場合別発生状況(平成30年度)

(発生件数：件、発生率：%)

校種別	区分	授業中	特別活動		課 外 指 導 中	休憩・ 昼休み	始業前	放課後	登下校中	その他	合 計
			児童生徒 活動中	学校行事							
小学校	発生件数(件)	1,628	445	173	3	1,864	119	194	580	0	5,006
	発生率(%)	32.5	8.9	3.5	0.1	37.2	2.4	3.9	11.6	0.0	100.0
中学校	発生件数(件)	1,261	63	180	2,359	263	23	68	112	1	4,330
	発生率(%)	29.1	1.5	4.2	54.5	6.1	0.5	1.6	2.6	0.0	100.0
高等学校	発生件数(件)	117	2	54	380	15	1	6	51	0	626
	発生率(%)	18.7	0.3	8.6	60.7	2.4	0.2	1.0	8.1	0.0	100.0

## 〔3〕学校給食

本市の小学校及び中学校における学校給食は、学校における教育活動の一環として、児童生徒の心身の健全な発達と地域社会における食生活の改善に寄与することを目標に、全校で完全給食を実施している。実施形態は、学校の実情にあわせ、自校で給食を調理する単独方式と、調理施設のある学校から調理施設のない学校へ給食を運搬する親子方式を併用している。

学校給食をより一層充実させるため、食事環境の改善、献立の工夫、ゆとりある喫食時間の確保、食教育の充実と家庭との連携強化を図っている。

## 1 小・中学校給食実施状況

(令和元年5月1日現在)

区分	給食形態別	校数(校)	児童生徒数(人)	実施率(%) (人員)
小学校	完全給食	199	89,827	100.0
中学校	完全給食	98	43,066	100.0
合計	完全給食	297	132,893	100.0

※ひまわり分校、のぞみ分校は含まない。中学校には開成中等教育学校（前期）を含む。

## 2 学校給食栄養摂取量

(平成30年度)

区分	エネルギー (Kcal)	たんぱく質 (g)	脂肪エネルギー比(%)	無機質(mg)		ビタミン				
				カルシウム	鉄	A(μgRE)	B1(mg)	B2(mg)	C(mg)	
札幌市基準 (A)	小	650	24.0	25～30	350	3.0	170	0.40	0.40	20
	中	820	30.0	25～30	450	4.0	300	0.50	0.60	35
札幌市実施 献立(B)	小	652	24.0	28.3	357	3.0	246	0.40	0.51	30
	中	819	30.4	27.6	438	3.8	294	0.50	0.60	35
充足率(%) B/A×100	小	100%	100%	-	102%	100%	145%	100%	128%	150%
	中	100%	101%	-	97%	95%	98%	100%	100%	100%

## 3 親子単独給食別実施

(令和元年5月1日現在)

区分	小学校		中学校		計		
	学校数(校)	児童数(人)	学校数(校)	生徒数(人)	学校数(校)	児童生徒数(人)	
親子方式	親子	79	35,324	39	16,759	118	52,083
	計	79	32,493	38	16,107	117	48,600
	単独方式	158	67,817	77	32,866	235	100,683
単独方式	41	22,010	21	10,200	62	32,210	
合計	199	89,827	98	43,066	297	132,893	

※ひまわり分校、のぞみ分校は含まない。中学校には開成中等教育学校（前期）を含む。

4 給食費(完全給食)の状況

区分	年度	月徴収額	年間給食費	年間予定回数	一食単価	
小学校	H30	平成30年4月～平成31年2月	4,350円			低学年 260.72円 中学年 265.22円 高学年 268.81円
		平成31年3月(調整額)	1年 2,950円	1年 50,800円	1年 195回	
			2年 3,750円	2年 51,600円	2年 198回	
			3年 4,100円	3年 51,950円	3年 196回	
			4年 4,100円	4年 51,950円	4年 196回	
			5年 4,250円	5年 52,100円	5年 194回	
	R1	平成31年4月～令和2年2月	4,350円			
		令和2年3月(調整額)	1年 2,950円	1年 50,800円	1年 195回	
			2年 3,750円	2年 51,600円	2年 198回	
			3年 4,100円	3年 51,950円	3年 196回	
			4年 4,100円	4年 51,950円	4年 196回	
			5年 4,250円	5年 52,100円	5年 194回	
中学校	H30	平成30年4月～平成31年1月	5,000円			317.22円
		平成31年2月(調整額)	1～2年 5,000円			
			3年 6,100円	1年 59,950円	1年 189回	
		平成31年3月(調整額)	1年 4,950円	2年 59,600円	2年 188回	
			2年 4,600円	3年 56,100円	3年 177回	
			3年 0円			
	R1	平成31年4月～令和2年1月	5,000円			
		令和2年2月(調整額)	1～2年 5,000円			
			3年 6,100円	1年 59,950円	1年 189回	
		令和2年3月(調整額)	1年 4,950円	2年 59,600円	2年 188回	
			2年 4,600円	3年 56,100円	3年 177回	
			3年 0円			

5 特別支援学校の学校給食

(令和元年5月1日現在)

学校名	給食形態	児童・生徒数(人)	
豊明高等養護学校(高等部)	完全	116	
みなみの杜高等支援学校(高等部)	完全	164	
山の手養護学校	小学部	ミルク	6
	中学部	ミルク	6
	高等部	ミルク	17
豊成養護学校	小学部	完全	16
	中学部	完全	4
北翔養護学校	小学部	完全	13
	中学部	完全	4
	高等部	完全	11
合計	—	357	